

## 本日のおもちかえり

- 1) 『**その頃、イスラエルには王がなかったので、おのおの自分の目に正しいと見るところをおこなった**』(士師記21章25節)というような時代、そこに暮らす人々の様子はどんなものであったかと想像できますか。この様と今日の社会に似通っているところがありますか。
  
- 2) 上記のような社会が続くとどうなりますか。なぜ、このような時を経て人々は『**今、ほかの国々のように、われわれをさばく王を、われわれのために立ててください**』(サムエル記上8章5節)というようなことを願ったのでしょうか。「王政」の利点と欠点は何でしょうか。
  
- 3) 当時、イスラエルはペリシテ人の侵略という脅威を抱えていました。今日、私達は諸外国のどのような脅威に向き合っていますか。私達の不安にはどんなものがありますか。
  
- 4) 大祭司エリの息子達にはどんな問題がありましたか(サムエル上2章12節-17節)。またエリにはどんな問題がありましたか(サムエル上2章24節、29節、3章13節)。
  
- 5) 大祭司とは民の罪の贖いのために聖所に入ることができる唯一の人であり、そんな社会的責任を負いながら、エリの家庭は乱れていました。なぜこのようなことが起きるのででしょうか。
  
- 6) エリの跡を継いだサムエルの子達にも問題があり(サムエル記上8章1節-3節)、このことゆえにイスラエルの民は2)にあるようにサムエルに王を求めるにいたりました。「家庭」と「社会的なはたらき」とはどのように関わっていますか。
  
- 7) 「自分の仕事に対する責任」と「自分の家庭に対する責任」は何が違いますか。この二つを両立させるためには何が必要ですか。